

石井東小スクールガードチーム

私たちの校区では、石井東小学校の子どもたちの登下校や校外生活の安全を守るため、任意団体である「石井東小スクールガードチーム」という組織があります。

1 組織創設の経緯

この組織結成の経緯は、今から18年ほど前になる2001年6月8日に発生した「大阪教育大附属池田小事件」に起因します。このショッキングな児童殺傷事件以来、全国的に学校の安全・安心への対応策が緊急に求められました。

この全国的な流れの中で、2005年5月本校区に組織が創設されたのには、当時、退公連石井東分会長を務めていた故矢野正敏氏（県警察OB）の英断と尽力に依るところが大であります。

2 組織メンバーについて

スクールガードチームは、警察官や裁判官、教員、県公務員等のOB、一般地域住民など、多彩な職種経験者で構成されています。創設から14年を経過した現在も、メンバーの入れ替わりはあるものの、継続して子どもたちを守り育てる地道な活動を行っています。現在のメンバー登録者は、17名で、活動中の不慮の事故等に対応するため、傷害保険にも加入しています。

また、地域にお住まいの方や子どもたちへの活動の理解と広報を願って、2年前に緑色の帽子とユニホームを石井東小PTAに作製購入していただきました。日々、着用して、気を引き締め、使命感に燃えて活動しています。

3 活動の実際

(1) 登校指導

メンバー有志によって、子どもたちの集団登校の時間帯、近隣の交差点や車両通行の多い箇所等に立ったり、登校班に連れ添ったりしながら、子どもたちの安全登校を見守っています。

(2) 下校指導

月に2～3回の集団下校時、学校に



集合し、コースに分かれて連れ添ったり、交差点での通行指導を行ったりしています。



(3) 交通安全教室への協力

学校の学年行事として、5月に「1年生の歩き方教室」、6月に「3年生の自転車教室」が、交通安全協会など関係機関の指導で開催されます。私たちメンバーも参加して、子どもたちの安全意識の向上に協力しています。





【1年生の歩き方教室】





【3年生の自転車教室】

4 活動を通して

- 子どもたちとも顔見知りとなって、挨拶や言葉の掛け合いが自然とうまれてきました。見守っている私たちの方が、子どもたちから元気もらっています。
- 最初は、小学生ばかりの声掛けから始まりましたが、だんだんと中学生や高校生、地域住民の方々への挨拶や声掛けも増えてきました。自然と地域コミュニティへの広がりを感じ、嬉しく思っています。
- 地域の子どもたちは、地域で守り育てることが基本だと思います。特別な組織活動に頼るのでなく、地域の大人が地域の子どもたちを、日常的に気に掛け、見守り育てていく社会になることを願っています。そのような地域づくりの一助になればと、今後も、できる者が、できる時に、できることを続けてまいりたいと思っています。